

粒子(質量 m) の運動と働く力が xy 面上に限られる場合に、次の問いに答えよ。

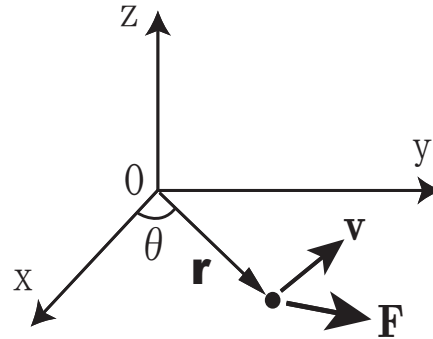
1. 平面座標 (r, θ) を用いて、この粒子の角運動量の z 成分 ℓ_z を計算せよ。
2. 力のモーメント(またはトルク)の z 成分 N_z の大きさは力の大きさ F と、原点から力のベクトルへおろした垂線の長さ p の積になることを示せ。

(解答例) 1. この粒子の x, y 座標は

$$\begin{aligned} x &= r \cos \theta, y = r \sin \theta, (r(t), \theta(t)), \\ \rightarrow v_x &= \dot{x} = \dot{r} \cos \theta - r \dot{\theta} \sin \theta, \\ v_y &= \dot{y} = \dot{r} \sin \theta + r \dot{\theta} \cos \theta. \end{aligned}$$

角運動量(ベクトル)の定義より

$$\begin{aligned} \ell &\equiv \mathbf{r} \times m\mathbf{v} \\ &= (x\mathbf{i} + y\mathbf{j} + z\mathbf{k}) \times m(v_x\mathbf{i} + v_y\mathbf{j} + v_z\mathbf{k}) \\ &= m(yv_z - zv_y)\mathbf{i} + m(zv_x - xv_z)\mathbf{j} + m(xv_y - yv_x)\mathbf{k} \\ &= \ell_x\mathbf{i} + \ell_y\mathbf{j} + \ell_z\mathbf{k}. \end{aligned}$$



今、 $z = 0, v_z = 0$ より $\ell_x, \ell_y = 0$ である。また角運動量の z 成分 ℓ_z は

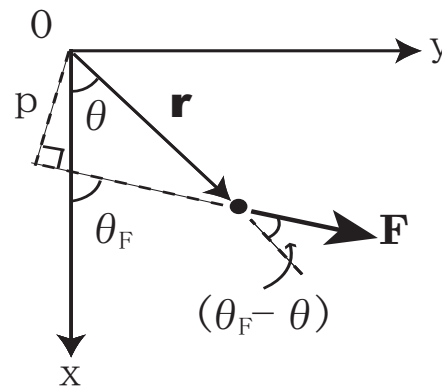
$$\begin{aligned} \ell_z &= xmv_y - ymv_x \\ &= r \cos \theta \cdot m(\dot{r} \sin \theta + r \dot{\theta} \cos \theta) \\ &\quad - r \sin \theta \cdot m(\dot{r} \cos \theta - r \dot{\theta} \sin \theta), \\ \therefore \ell_z &= mr^2 \dot{\theta}. \end{aligned}$$

2. 力のモーメント(ベクトル)の定義より

$$\mathbf{N} \equiv \mathbf{r} \times \mathbf{F}.$$

従って、 z 成分 N_z は

$$N_z = xF_y - yF_x.$$



ここで力のベクトル F の x 軸となす角を θ_F とすると

$$\begin{aligned} N_z &= r \cos \theta \cdot (F \sin \theta_F) - r \sin \theta \cdot (F \cos \theta_F) \\ &= F \cdot r \sin(\theta_F - \theta) \\ &= F \cdot p \quad (p \equiv r \sin(\theta_F - \theta)) \end{aligned}$$

従って、 N_z は力の大きさ F と、原点 O から力ベクトル F (の作用線) に下ろした垂線の長さ p の積になる。